
ひとり五枚会「パートぶっ殺す」

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ひとり五枚会「パートぶっ殺す」

【コード】

N0463Q

【作者名】

ごほんライス

【あらすじ】

テーマ・憎悪。禁則・会話文なし。

テーマ・憎悪、禁則・会話文なし（無言ダンテ主催「五枚会」より）

オレは悲しくて悲しくてならぬ。てか、イライラする。アルバイトゆえに、低所得過ぎて、公園にテントを張って暮らしている。

働いてるのに公園暮らしとはどういうことだ！

すべて、パートのせいだ。パートはアルバイトより時給が高い。

同じ労働者なのになぜこんな差ができるんだ。パートに利益を奪われて、オレたちアルバイトが苦しい思いをする。

「うわああああああ」

オレはテントの外に飛び出した。

ストレス発散用に大きな藁人形わらを設置してる。

竹槍たけやりを構え、藁人形に突進する。

「うおおおお。パート死ねええええええ」

藁人形の胸を竹槍で突いて抜いてまた突く。何回も何回も。

「パート死ね！パート死ね！パート死ね！」

何だか大東亜戦争のときも、こんな光景、町内会や学校で見かけましたね。歴史は繰り返すというか。

しかしイライラが収まらない。

ベンチに座り、ペットボトルに入ったスポドリを飲む。

また同じことを繰り返す。

「パート死ね！パート死ね！パート死ね！」

だめだ。余計イライラする。

「うおおおおお」

オレは竹槍を持って、公園を飛び出した。

「はあはあ。あっ」

ちよつど前を、下校中の女子小学生が歩いてた。

「パート死ね、うらああああああ」

女子小学生が悲鳴を上げて逃げようとする。

竹槍をランドセルに刺した。

女子小学生はランドセルから腕を離し、ものすごいスピードで逃げた。

ランドセルをぶっ刺した竹槍を持って佇むオレ。

風がびゅうと吹いて、枯れ葉が舞う。木がないのに。寒い。

急にケータイが鳴る。

「もしもし。何や」

「ロリ華よ」

げ。ロリ華さん。こいつは、オレの勤務する会社のパートだ。

「旦那が出張で寂しいのよ。うちに来てくれない？」

うう。につつきパートめ。人の都合も無視して勝手なことぬかしやがって。

「無理？」

うう。

ごつつ行きたい！ロリ華さんはロリ顔でDカップ。ごつつイチャイチャしたい！

オレは、ロリ華さんにねえんだめえとか甘ったるい声で言われ、股間がガツチガチになつてきた。

につつきパートめ！

「行きます！五分ください。走って行くから」

オレはケータイを切って、竹槍を放り投げて、走り出した。

くそパートめ！ひいひい言わせてやる。身体をもてあそんでやる。日頃の怨みを身体に叩きつけてやる！

走りながら、オレの先つちよはちよつと濡れていた。泣いてるのかな。よだれを垂らしてるのかな。

息子の考えてることはようわからん。

反省

枚数いかなかった。

二番煎じ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0463q/>

ひとり五枚会「パートぶっ殺す」

2011年1月12日21時02分発行